

社内イベント「日越ジョイントワークショップ参加報告会」を開催

グローバル人材の育成

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）は、中期経営計画で海外事業の強化を掲げるとともに、グローバルに活躍できる人材の育成にも注力しています。

2025 年 6 月 20 日にホーチミン市工科大学（ベトナム国ホーチミン市、以下 HCMUT）で開催した「日越ジョイントワークショップ」では、ATK の若手技術者 3 名が HCMUT を訪れ、現地で技術発表を行いました。このワークショップへの参加報告会を 7 月 31 日、本社を会場としてオンライン併用の社内イベントとして開催しました。

3 名はそれぞれ、ワークショップでの技術発表を英語で行ったうえで、ワークショップを通じた体験や感想、ホーチミンでの経験なども含めた発表を行いました。

ワークショップでの発表直後に、聴講していた学生から多くの質問を投げかけられた技術者は、「決して流暢とは言えないながら、彼らの英語からはコミュニケーションを取ろう、さらに知見を深めようという熱意を強く感じた」と、非常に印象深く語りました。

市中の見学で建設作業中の現場を複数見た技術者は、「強度や構造が異なることが一見してわかり、日本との施工管理、安全管理の考え方の違いを理解することができた。あらためて日本が地震大国であること、このことへの備えが大切であることを痛感した」と感想を述べました。

戦争証跡博物館（ホーチミン市）を見学した技術者は、ベトナム戦争中に散布された枯葉剤による汚染土壌が現代でも深刻な健康被害をもたらしていることを憂慮しつつ、ATK も取り組む土壌の浄化作業の意義深さ、社会性の高さを再認識したことを説明しました。

あわせて、3 人は共通して、「ワークショップへの参加を通じて、今まで以上に『英語でコミュニケーションを取りたい』という気持ちになった」と、英語学習の重要性に加え学習意欲の高まりについても言及しました。

以上